

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名	チャレンジラボ 清水校					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	基準の人員に加え、児童指導員又は保育士を1名以上配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	活動毎にエリアを分けたり、タイマーの活用やルーチン化したりすることで空間や時間の構造化をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	6	0	指導室は、お子様が取組みに集中できるよう、シンプルな内装にしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	全ての場所がスタッフ見守りの中で使用できるようになっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	支援会議で支援計画定め、定期的にモニタリングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者様へのアンケートを実施し、業務の改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	スタッフミーティングで意見を出し合う時間を設け業務改善に繋がるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		現在、第三者による外部評価の実施予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討していきます。
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	初任者研修を行い、その後は継続的に研修を実施しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	保護者へ予定表を配付しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもの保護者ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	統一したアセスメントシートを使い、定期的にあセスメントを実施して個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	全職員の共通理解の下で支援計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	個別支援に沿った支援を心掛け、評価に反映できるようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	事業所独自のアセスメントシートを使用しています。日々の支援記録も確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインを参考にしながら計画を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	チームで活動プログラムの立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	チーム検討しながらプログラムを組んでいます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	お子様の状況に合わせて、個別・集団活動を検討し計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼・終礼を日々実施し、情報共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	朝礼・終礼を日々実施し、情報共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	必ず記録をとり、職員間で共有しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一回以上モニタリングを行い、計画の見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	柔軟に組み合わせさせて支援を行うように努めています。	地域との直接的な交流の機会は、今年度は設けておりません。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	6	0	お子様の意見や気持ちを尊重し、自己決定の力を育むためのサポートを行っています。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	朝礼・終礼を日々実施し、情報共有しています。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じて関係機関と連携して支援を行っています。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6	0	必要に応じて情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	可能な限り訪問し、情報共有に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	可能な限り訪問し、情報共有に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6		機会があれば積極的に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6		地域交流の実施は、限られた支援時間中では難しいことから、できておりません。個々のお子様の状態に応じ、必要があれば検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		今年度は参加できませんでしたが、できるだけ参加するようにしています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時・面談時に保護者様へフィードバックしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	年に一度以上、保護者様勉強会を開催しています。(2024年度は11月に実施)	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に重要事項・利用者負担等についてご説明しております。また、事業所内にも運営規定を掲示しております。支援の内容については、契約時、及び個別支援計画の見直し時に、面談にて説明しています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	お子様や保護者様に意見を直接聞く機会を作り、計画を立てています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	必ず支援内容の説明を行い、保護者様同意の上でサインをいただいています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	電話や面談・メールなどで助言やサポートを行っています。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	0	保護者様勉強会の後、交流会を開催しています。	
	41 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情窓口を設け、周知しています。苦情があった場合は、苦情解決の流れに沿って迅速に対応します。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログで活動状況を発信しています。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報は鍵付キャビネットに保管しています。	
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	伝わりやすい方法で行っています。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		保護者様の要望等に配慮し、現在招待等は行っていません。
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルを策定し、研修を行っています。	
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	避難訓練を実施しています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	確認シートを活用して状況を把握しています。	
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に全てのお子様についてのアレルギーの有無を確認し、指導時にアレルギー該当物質との接触が発生しないよう留意しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を作成し、定期的な研修や訓練を実施しています。	
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	緊急時の対応について連携を図れるようにしています。	
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット案件が発生した際は、ヒヤリハット報告書を作成し、職員間で共有しています。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	マニュアルを策定し、研修を行っています。	
54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束については重要事項説明書に記載しており、契約時に保護者様へ説明しています。また、必要に応じて個別支援計画にも記載します。		